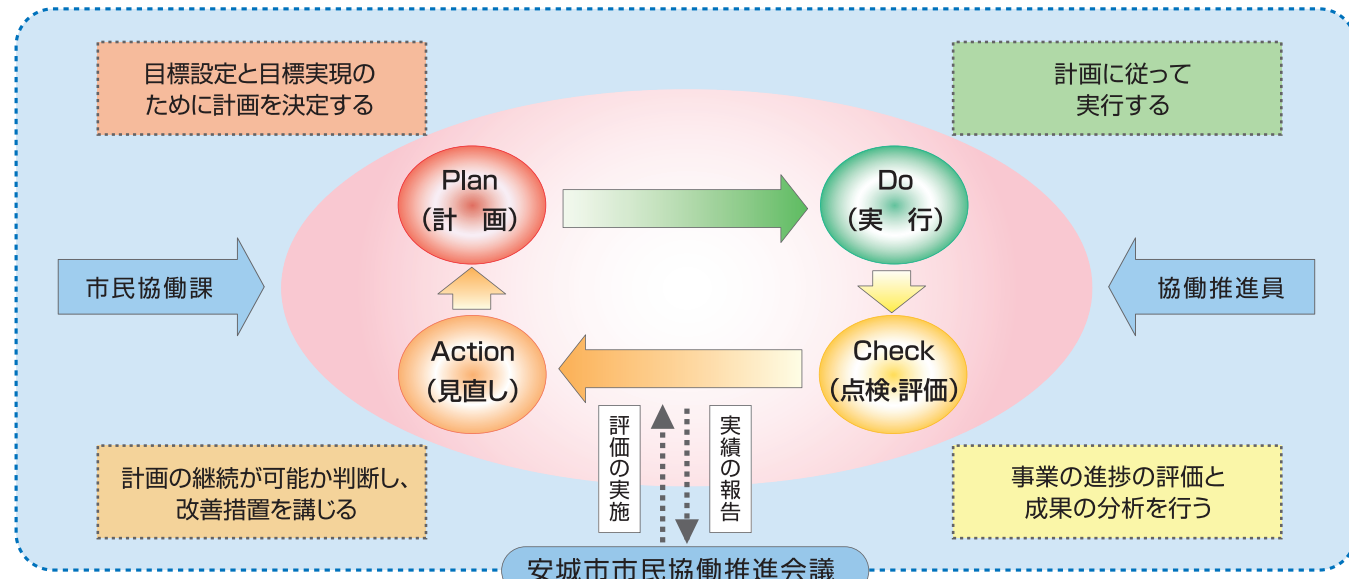


協働事業の進行管理

本計画で示した施策・事業は、すぐに取り組める事業から着手しつつ、事業の進捗状況を定期的に確認し、事業の実施状況の点検と実施後の成果を評価し、次の事業への展開方策を検討しフォローアップしていくという「PDCAサイクル」による進行管理を行い、施策・事業の継続的な改善を進めていくものとします。

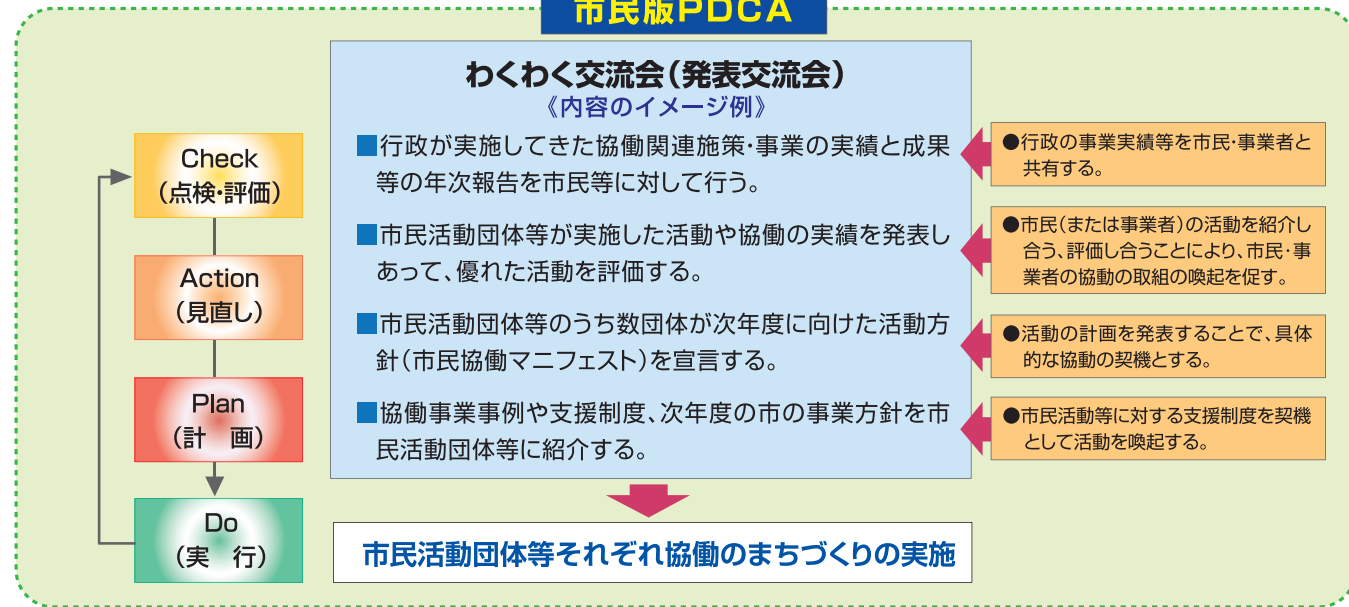
また、市民活動団体等が活動成果を発表し合い、優れた活動を評価する「わくわく交流会」を市民版PDCAとして位置づけ、行政版PDCAと連動させながら進めることにより、計画の進行管理についても協働によって進めていくものとします。



行政版PDCA
(協働関連施策・事業の進行管理システム)

連動

市民版PDCA



協働とは?

市民、地域団体、市民活動団体、事業者および市がそれぞれの良さや強みを持ち寄って、「サラダ」のようにお互いを活かし合うことにより、地域の課題を解決し、安城のまちをよりよくしていくことをいいます。

「サラダ」のようとは?
レタ・トマト・にんじん・きゅうりなど、それぞれの素材の良さや持ち味を活かしあって、一つの美味しい「サラダ」をつくるというイメージです。



安城市市民協働推進計画とは?

この計画は、「安城市市民協働推進条例」第8条及び第9条に基づき、「安城市協働に関する指針」を踏まえ、市民、地域団体、市民活動団体、事業者および市による協働のまちづくりを進めていくため、施策や事業の実施時期、推進体制について具体的に定めるものです。また、本計画の期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。